

平成 28 年 12 月 9 日

北海道経済記者クラブ 各位

北海道シマフクロウの会
(事務局 (株)北海道二十一世紀総合研究所)

絵本『シマフクロウ ちびのぼうけん』発刊について

北海道シマフクロウの会（会長 横内龍三北洋銀行会長／事務局 (株)北海道二十一世紀総合研究所）では、本日9日北海道新聞社から、北海道にしか棲息しておらず絶滅が危惧される希少動物のシマフクロウのちびと、親代わりにちびの世話をする少女ユキを主人公とした、シマフクロウに代表される北海道の生物多様性保全の大切さをメッセージに込めた標題の絵本を発刊いたします。

[画像 絵本表紙]



北海道の生物多様性の保全や、絶滅危惧種であるシマフクロウの保護等に当る団体・個人を支援することを主な活動目的とする当会では、次世代を担う子どもたちへ伝えるメッセージとするべく、この絵本制作を企画しました。原画も、プロの描き手ではなく、地元の意欲ある若手にとの発想で、札幌市立大学の事務局、デザイン学部の上遠野教授の協力を得て、在学生、卒業生の候補者によるコンペティションを実施。選考で選ばれた当時3年生在学の土屋慶花さんをお願いして、約1年の制作期間を経て完成に漕ぎつけたものです。

この絵本には、体に障害を持つシマフクロウのちびと、親代わりに世話をする少女ユキが巡り合った北海道の大自然や四季の変化の豊かさを通じ、次の世代を担う子供たちに向け、広く生物多様性保全の大切さに気づいてもらいたいというメッセージが込められています。色彩豊かな原画のタッチを生かし、絵本としても質の高い仕上がりになったものと自負しております。

また、なるべくたくさんのお子どもたちに手にしてもらえよう、書店での販売のほか、札幌市教育委員会を通じた市内小学校への配布や道内主要都市の図書館等への寄贈を実施します。

なお、絵本寄贈にあたっては北洋銀行、同行関連会社の支援をいただいております。

引き続き当会では、会の活動目的に則り、シマフクロウ保護や北海道の生物多様性保全に係る情報の収集、発信や生息地で活動する団体・個人への支援実施、児童向けの啓発活動などに鋭意取り組んでまいります。

【新刊情報】

- ・書名：「シマフクロウ ちびのぼうけん」
- ・作：北海道シマフクロウの会 ・絵：土屋慶花 ・出版：北海道新聞社
- ・A4版オールカラー 32ページ ・定価 1,728円（税込）

【参考情報】

作 北海道シマフクロウの会

・国の天然記念物で絶滅危惧種のシマフクロウの保護活動を支援する団体。会長は横内龍三北洋銀行会長。道内経済界の有志が集まり、2013年9月に発足しました。会報である「北海道シマフクロウ通信」の発行（季刊）、専門家による講演会や児童向け出張講演会「学ぶ会」の開催、生息地で活動する団体・個人との連携などを通じて、シマフクロウの保護を呼びかけています。

事務局は(株)北海道二十一世紀総合研究所。会員数350名。

(URL : hokkaido-shimafukurou.org / TEL : 011-231-8681)

絵 土屋慶花

・1994年生まれ、小樽市出身。札幌市立大学デザイン学部デザイン学科（上遠野敏ゼミ）在学中。これまでグループで絵画の個展を開くなど、さまざまな表現活動に取り組んできました。北海道シマフクロウの会の絵本制作にあたっては、会が主催したイラスト・コンペティションに応募し最優秀案に選ばれて、約1年をかけて原画を完成させました。

【お問合せ先】北海道シマフクロウの会事務局

〒060-8640 札幌市中央区大通西3丁目 11 番地北洋ビル6階(株)北海道二十一世紀総合研究所内
TEL011 - 231 - 8681 ※ホームページのお問合せ機能もご利用いただけます